

# 学書

2020年 4月号 通巻第762号

# 學書



第十二回早春展会場風景

月例競書半紙・条幅優秀作品はホームページ上に発表。  
学書院ホームページの手本解説動画をユーチューブにて  
配信中。http://www.gakusho.co.jp

東京学書院発行



風輕至鶯  
韻緩

▼師範楷書手本▲

風輕鶯韻緩

風輕鶯韻緩  
露重落花溼

顧野王

風は軽く鶯韻緩なり

鶯韻は鶯の声です

緩はゆるやかです

風は軽やかに吹き鶯の声が

する おだやかで春らしい

景色が目の前に浮かぶ様

です

長鋒を用いてなるべく厳し

くならぬ様におだやかな調

子を出してみたいものです

用筆・妙品長鋒  
本院特製

風輕至鶯  
韻緩

▼師範行書手本▲

風輕鶯韻緩

行書のリズムが春風を思わ

せる様に運びたいと思いな

がら書いてみました

鶯の形を変えてみました

が貝を二つや、離してみました

です

風以外は総て扁とつくりの

ある文字です

あとの四文字は横巾を広く

書いてみましょう

用筆・妙品長鋒  
本院特製

風輕鶯韻  
緩

▼師範草書手本▲

風輕鶯韻緩

風は楷書にあたる第二画目を先に書いてから左側を書き中央部を最後にしました書きなれる為に繰り返し練習をしてみてください  
潤渴の変化はプリントには現われにくいのですが練習を重ねてください

用筆・妙品長鋒  
本院特製

風輕鶯韻  
緩

▼師範隸書手本▲

風輕鶯韻緩

今月も隸篆は短鋒です両者の違いは筆圧です隸書はゆったりと扁平な形に仕上げるのが良い様にあります  
波法部のみにアクセントがあります  
文字の中心部の空白を小さくしてみてください

用筆・短鋒鳳来四号  
本院特製

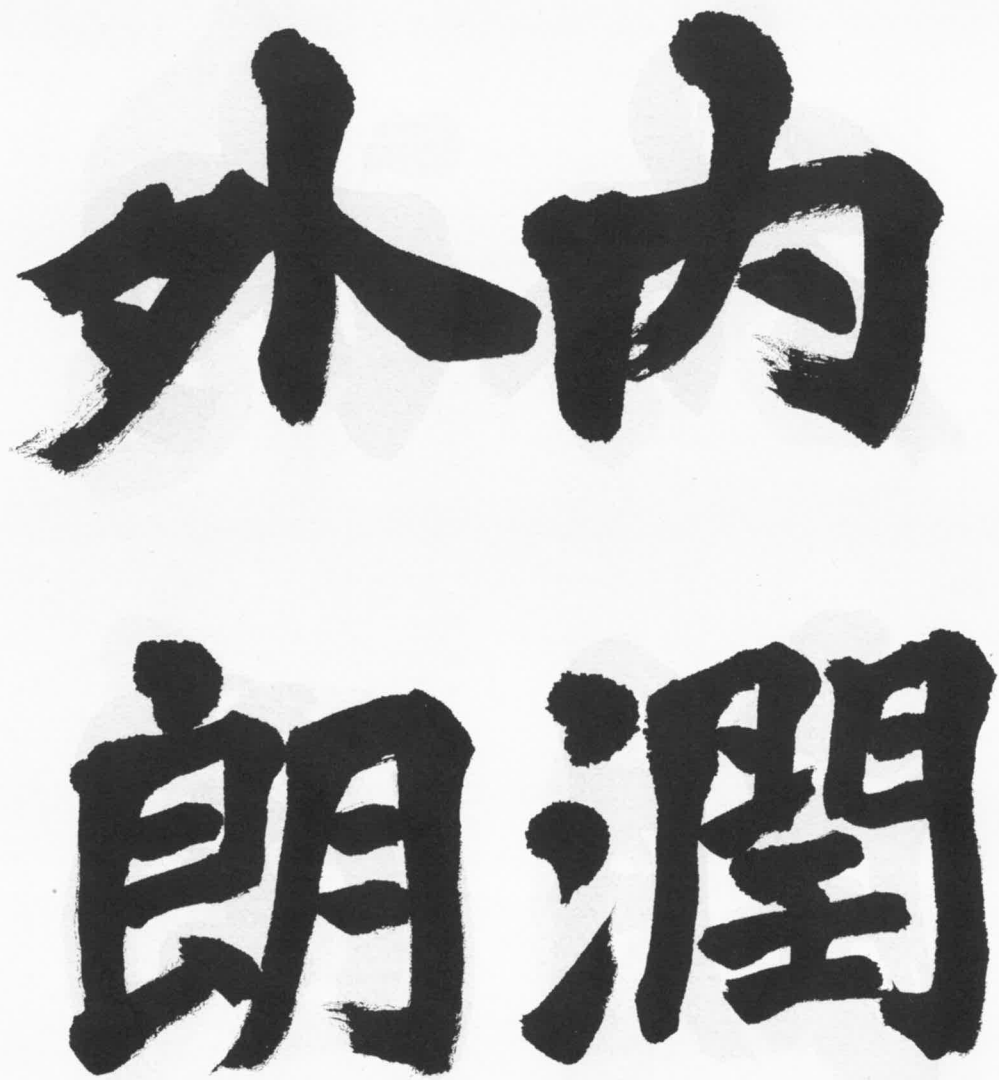


▼師範篆書手本▲

風輕鶯韻緩

短鋒の先端のみで書きま  
した  
この場合は運筆の速度を上  
げない事が大切です  
ためらい勝ちに運筆をしな  
いと線上の表現がつまらな  
くなりですから注意をして  
習字をなさつて下さい  
勿論逆筆に構えて下さい

用筆・短鋒鳳来四号  
本院特製



▼一般・高・中学生楷書手本▲

内潤  
外朗

玉の光澤の内に含まれる事  
を内潤と言いい外に発する事  
を朗と言います  
慈明外朗・叔慈内潤  
(白品藻)

人の輝きは外だけでなく内  
側から発するのが本来です  
から 人の心の奥からの輝  
きが本物です  
大切な四文字です 習字を  
くり返す事によって自身の  
心を養いましょう  
筆は四号龍を用いました  
内と外は墨含みをたっぷり  
にして豊かな線を出して下  
さい

用筆・龍中鋒四号  
本院特製

外内

朗潤

▼一般・高・中学生行書手本▲

内潤  
外朗

四号中鋒龍は楷書向きな  
で行書と草書は一筆で仕上  
げる為に墨を十分に含ませ  
る事が大切なのです  
潤や朗は字画が多いので潤  
濁の変化を出す工夫をして  
みましょう 線上の変化等  
面白い表現を研究して下さ  
い

用筆・龍中鋒四号  
本院特製

外内

朗潤

▼一般・高・中学生草書手本▲

内潤  
外朗

草書は曲線部を丁寧に運筆  
をして角ばらぬ様にして下  
さい  
特に一文字中の扁から右側  
へ移行する時は自然に渴筆  
が出る筈です 朗の筆圧は  
変えないで渴筆を出せれば  
良いのですが…… 草書と  
しては難しくはないのです

用筆・龍中鋒四号  
本院特製

内 潤  
外 朗

▼一般・高・中学生隷書手本▲

内 潤  
外 朗

短鋒を逆筆に構えて下さい  
VTRをみましょう  
さらりとした調子ですから  
思う通りに行けば気分が良  
くなる様な隷書です  
VTRは便利ですから繰り返し  
返し見て目習いをして下さ  
い

荒 城  
の 月

▼一般・高・中学生用手本▲

荒 城  
の 月

千九百一年の明治三十四年  
中学校唱歌として刊行され  
たこの歌は 土井晚翠作詞  
滝廉太郎作曲です  
私達も知っている有名な歌  
です。どこかなつかしい古  
い歌です

桜の名所  
の

▼小三〜小六用手本▲

桜さくらの  
名所めいしょ

八ヶ岳の泰雲美術館に  
桜の木を植えました  
大きくなったら  
大木になったら  
花が咲いたら  
何十年  
何百年たったら  
桜の名所になるでしょう

用筆・龍又は涛四号  
本院特製

観

▼小学生自由手本▲

観かんみる  
草書そうしょ

観は見ることですが  
觀賞、観劇、観察等と奥が  
深い意味で 見るや看ると  
は違います  
物を見るだけでなく考えを  
巡らすために見るのですか  
ら観は私の大好きな漢字で  
す

用筆・龍又は涛四号  
本院特製





▼幼〜小二用手本▲  
こ ひよ

ピヨ ピヨ ひよこ  
ふわ ふわ ひよこ  
よち よち ひよこ  
ちいさい ひよこ  
かわいい ひよこ  
どうして こんなに  
かわいいの  
ピヨ ピヨ ひよこ



▼小〜小四用手本▲  
工夫くふう

さあ かんがえましょう  
工夫をしましょう  
よくかんがえたらかならず  
こたえがでてきます  
工夫ってたのしい  
工夫っておもしろい  
自分じぶんでもおどろくほど  
すごいことになったら  
たのしいな  
工夫っていいな  
たのしいな

喜氣樓  
臺満  
善香

青々 総師範  
十段 亀田 善香

喜氣樓  
臺満  
菊溪

青々 総師範  
十段 渡木 菊溪

喜氣樓  
臺満  
翠松

青々 総師範  
十段 宮内 翠松

喜氣樓  
臺満  
蘭邑

青々 総師範  
十段 青木 蘭邑

喜氣樓  
臺満  
翔蘭

青々 総師範  
十段 細川 翔蘭

喜氣樓  
臺満  
菖風

青々 総師範  
十段 森田 菖風

喜氣樓  
臺満  
幸子

青々 副師範  
十段 田倉 幸子

喜氣樓  
臺満  
万瑠

青々 総師範  
九段 結城 万瑠

喜氣樓  
臺満  
洲華

青々 総師範  
十段 佐藤 洲華

かな

▼幼〜小二用手本▲  
かな

いろはにほへと  
ひらかな  
かたかな  
かなをおぼえて  
かきましよう  
あなたのなまえを  
かきましよう  
ともだちのなまえも  
かきましよう  
ひらかな かたかな  
かけますか

用筆・龍又は涛四号  
本院特製



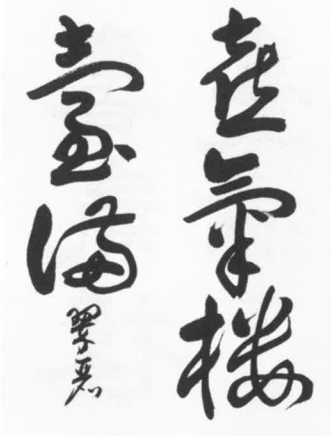
紅秋 正師範  
九段 村田 蘭紅



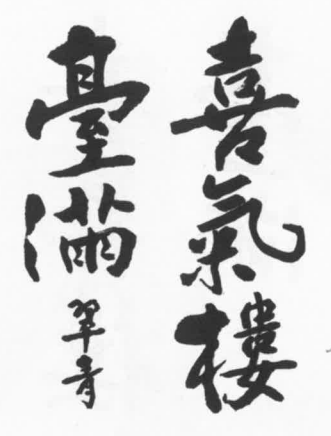
紅秋 正師範  
九段 光岡 天紅



友美 正師範  
九段 森本 瀾鳳



翠松 総師範  
十段 海老沢翠麗



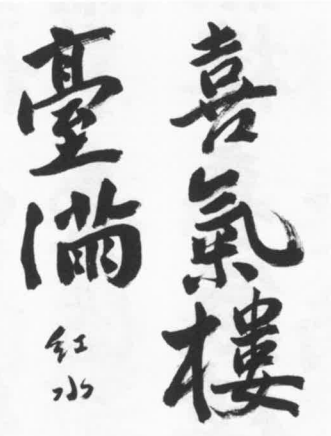
秀翠 総師範  
十段 宇野澤翠青



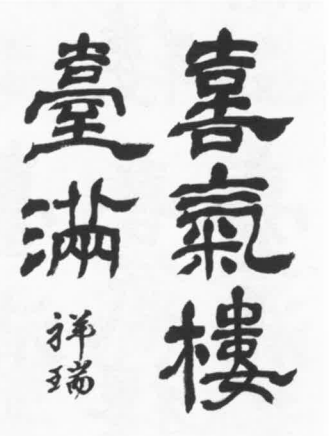
友美 総師範  
十段 八木 花紅



千翠 正師範  
八段 石井 翠流



紫水 正師範  
八段 安原 紅水



瑞蓮 正師範  
九段 和野内祥瑞



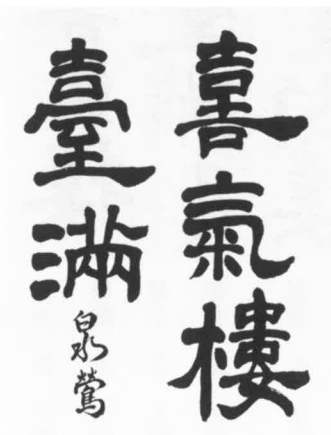
友美 正師範  
十段 永田 琴瀾



各支 総師範  
十段 鈴木 菊珠



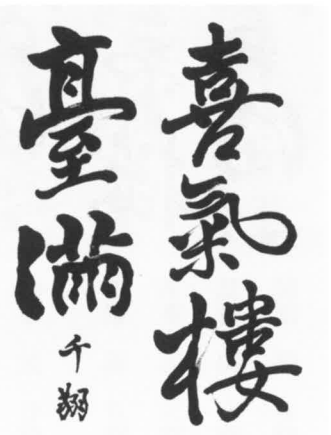
藍園 総師範  
十段 竹内 鳳藍



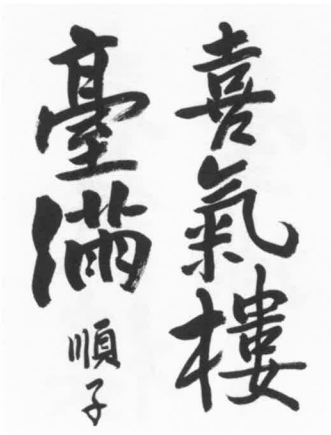
いず 準師範  
九段 保立 泉鶯



小蘭 副師範  
九段 坂本麻衣子



千翠 正師範  
七段 市川 千翔



各支 正師範  
十段 松本 順子



光穂 正師範  
十段 山下 宝穂



瑞雪 正師範  
十段 矢田堀瑞苧

喜氣樓 瑞美	喜氣樓 穂乃香	喜氣樓 恵美子	喜氣樓 菅華
-----------	------------	------------	-----------

喜氣樓 瑋鶯	喜氣樓 瑞鴻	喜氣樓 孝	喜氣樓 美月
-----------	-----------	----------	-----------

喜氣樓 勝功	喜氣樓 瀨秋	喜氣樓 郁未	喜氣樓 虹風
-----------	-----------	-----------	-----------

喜氣樓 美菜	喜氣樓 鷹崖	喜氣樓 純子	喜氣樓 梨麗
-----------	-----------	-----------	-----------

清圃 準 二段 青木美菜子	香秋 準 三段 花鳥 勝功	鶯徑 準 三段 和田 瑋鶯	瑞雪 準 四段 窪田 瑞蓉	碧崖 準 五段 石川 鷹崖	香秋 準 六段 井上 瀨秋	瑞雪 準 八段 熊谷 瑞鴻	菊珠 準 九段 緑川穂乃香	いず 準 九段 山田 純子	友美 準 九段 後藤 郁未	青湖 副 二段 山本 孝	雪亭 副 二段 井関恵美子	藍圃 副 五段 B 梨麗	友美 副 六段 中尾 虹風	菖風 副 九段 谷地 菁川	菖風 副 九段 土居 菅華
---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	--------------	---------------	--------------	---------------	---------------	---------------

喜氣樓 明翠	喜氣樓 瑞松	喜氣樓 春恵	喜氣樓 春恵	喜氣樓 春恵	喜氣樓 春恵
-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

喜氣樓 玲月	喜氣樓 春恵	喜氣樓 満重	喜氣樓 春恵	喜氣樓 春恵	喜氣樓 春恵
-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

喜氣樓 少麗	喜氣樓 梨光	喜氣樓 梅游	喜氣樓 梅游	喜氣樓 梅游	喜氣樓 梅游
-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

喜氣樓 祥瑤	喜氣樓 白玲	喜氣樓 梅華	喜氣樓 梅華	喜氣樓 梅華	喜氣樓 梅華
-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

祥徑 副 十段 大井 祥瑤	友美 副 十段 永沢 少麗	千翠 正 三段 大野 玲月	千翠 正 六段 川上 明翠	白玲 正 七段 深澤 白玲	秀光 正 八段 伊東 梨光	春徑 正 八段 佐藤 春恵	青々 正 八段 小坂 瑞松	いず 正 九段 小野 梅華	いず 正 九段 道祖尾梅游	紫水 正 九段 原竹満亀子	翠徑 正 九段 晴山 壽徑	青々 正 九段 小川 青雪	青々 正 九段 石井 櫻瑠	瑋蘭 正 十段 原田 春玲	青々 総 十段 小池 杏泉
---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------



瑞徑 小六  
初段 田内 碧



櫻霞 小六  
二段 川田 蒼真



清園 中三  
四段 青木 晴都



友美 小四  
1級 長谷川 央音



碧崖 小四  
三段 林 佑美



いず 小五  
二段 岩崎 琴音



清韻 小二  
3級 吉村 ゆうな



菖風 小三  
二段 櫻井 晴香



岳雲 小四  
5級 新津 奏美



洲華	友美	青壁	瑞雪	春苑	翠桂	友美	各支	小淵	翠楊	菁香	春錦	碧崖	友美	祥徑	櫻霞	洲華	裕華	青々	各支	千翠	友美	千翠	千翠	各支	簞琴	千翠	友美	青々	春苑	青々	各支	青々	
準準	準準	準準	準準	準準	準準	準準	準準	準準	準準	準準	準準	準準	準準	準準	準準	準準	準準	準準	準準	準準	副副	副副	副副	副副	副副	正正	正正	正正	正正	正正	正正	正正	正正
2	1	1	初初	初初	初初	初初	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二三	三三	三三	四四	四四	四四	四五	五五	1	三三	四四	五五	六六	初初	二二	二二	四四	四四	六六	七七
羽深	松本	三木	森田	井上	今村	高山	山下	神宮	齋藤	簡井	中村	古海	小田	渡辺	大澤	新見	塚上	井田	積田	平本	中村	細田	伊藤	齋藤	南小	大塚	山下	井原	石丸	山岡	関口	鈴木	
美希	真紀	かや乃	匡子	瑞仙	寛子	節子	由美	トシエ	涼子	彩乃	早苗	愛子	紅嶺	祥園	かりん	勝	誠次	隆次	雅已	和子	幸奈	美乃	玲雲	春瑛	百合	千芝	櫻青	江月	加奈子	華青	瑤風	淑蘭	

菖風中一五級 金丸航太郎  
 翠濤小六四段 森嶋和果  
 友美小六二段 崎元ゆきの  
 友美小六一級 吉岡結捺  
 友美小六一級 近藤美衣  
 千翠小五四段 高嶋 瞳子  
 友美小五三段 高橋 色咲  
 春徑小五三段 菅野 葵  
 友美小五二段 大浦 結羽  
 翠濤小五二段 横溝いと  
 秀月小五初段 櫻井 瑞希  
 友美小四二段 小菅 美和  
 菖風小四二段 澤井 暖人  
 瑠蘭小四二段 栗原 雅人  
 岳雲小四初段 小泉ここね  
 宝山小四一級 小原 洵也  
 友美小三初段 古屋 大和  
 友美小三初段 長田 莉ノ亜  
 千翠小三初段 田岸 咲空  
 青々小三七級 北見 登亜

小六 結捺  
令和

小六 ゆきの  
啄木

小六 和果  
令和

中一 航太郎  
啄木

五年 葵  
啄木

小五 色咲  
令和

小五 懂子  
鳥

小六 美衣  
啄木

小四 美和  
令和

小五 瑞希  
令和

小五 いとの  
令和

小五 大浦結羽  
令和

小四 洵也  
令和

四年 ミホ  
令和

小四 雅人  
鳥

小四 暖人  
令和

小三 登亜  
ろめじ

小三 咲空  
令和

小三 莉ノ亜  
ろめじ

小三 大和  
令和

玄麟一般五段 滝本 憲男  
 菁香一般四段 石田 英司  
 友美一般三段 馬賀菜穂子  
 祥徑一般三段 中村 知子  
 秀月一般二段 小林 香夏  
 春苑一般二級 大倉 康子  
 和光一般四級 岡本 大子  
 岳雲一般七級 須賀キヨ子  
 光嶺一般七級 長谷川知子  
 菖風高二七段 吉住 咲希  
 祥徑高一六段 長江清太郎  
 菖風高一四段 五味こころ  
 菖風中三六段 蔵 心希  
 春徑中三四段 ニール凜音  
 春徑中二三段 池上 裕太  
 友美中二四段 小俣 柚希  
 千翠中二四段 真鍋 栞梨  
 友美中二二段 千田 和典  
 春徑中一三段 岡田 虎太郎  
 岳雲中一初段 原 佑樹

知子  
安長  
樂生

菜穂子  
安長  
樂生

英司  
安長  
樂生

憲男  
安長  
樂生

キヨ子  
安長  
樂生

大子  
安長  
樂生

康子  
安長  
樂生

香夏  
安長  
樂生

ミコ子  
安長  
樂生

高一 清太 潤  
安長  
樂生

高二 咲希  
安長  
樂生

知子  
安長  
樂生

中二 柚希  
鳥啄  
木

中三 梅太  
安長  
樂生

中三 凜音  
安長  
樂生

中三 心希  
安長  
樂生

中一 原佑樹  
安長  
樂生

中一 虎太郎  
鳥啄  
木

中二 和典  
安長  
樂生

中二 栞梨  
安長  
樂生



## 学書院展初出品の励め 青蘭

昨年は本展初出品を大いに励めました。さてどんな題材を選ぶかと言う問題に対して、本誌の条幅月例コンクルの課題に依る事としましたが、想像を超える力作が集まりました。今年は更にもう一度チャレンジをしたいとの希望が多いので再度募集をします。

月例五文字の条幅です。二度目の方、久しぶりに出品する方、大いに出品して下さい。これからは月例のコンクールにも参加をして力をつけましょう。

月例半紙清書コンクルの延長とあって、実際に半折の前に座すと、今、自分が紙全体のどの辺に筆を走らせているのが不明になる程、半紙とは異なるものです。半折を一枚仕上げる作業は大きな勉強となります。



## 学生書道展出品作品について

チビ子から高中生の大字作品が並ぶ学生展が近づいて来ました。腕よりも太い筆を持ち大字を書いた子供達の作品は感動的です。

昔、二才の男の子に丈夫と書くのを指導した事がありました。やっとの思いで丈夫と書き上げましたが、くたくたに疲れましたのを憶えています。処がその子はもつと書くと言いました。

そこで大丈夫と書く事になりました。一文字プラスしたのです。勿論みごとに書けました。

泰雲先生が学生の為の学書十二則にある「のびのびとじゆうに書こう」「たのしく書こう」と云う通り。子供達の大字程さわやかで明るい作品はありません。大字の稽古は実に愉快です。



## 学書院展大字大作制作について

本年も学書院展作品制作の時期となりました。

例年の事ながら四、五月は集中的に制作の時です。一日でも早く取りかかり、もしも他に良い題材を発見した時は変更が可能なゆとりを持っていて欲しいのです。例えば、書体に依り得意不得意が有る時もあり切った方向転換出来る時間が大切なのです。又、書体と作品の寸法です。細字長文ならば小画仙屏風仕立てが経済的ですが、偶数に限ります。大画仙ならば、例えば半折でも全紙でも奇数が可能です。大画仙五連幅は中央の一枚に大字を配して、左右にやや字数の多い形にすれば立体的な表現も可能となります。美術館の大壁面に貴方の作品が並んだ光景を思い浮べて下さい。

青蘭記



金文の大字、細字

下は金文の大楷や草書大字作品







▽三月二十五日、八ヶ岳泰雲美術館に於いて宇宙桜・天鷹の植樹祭を開催しました。何時の日か桜の名所となるのかと思うとワクワクする程すごい事です。

▽学書院展の制作に入りました。時間はあつ！と言う間に過ぎます。ペテランも初出品者もこのチャンスを大切にしたいですね。  
▽月例半折コンクールに日頃からチャレンジをして腕を上げましょう。どなたも資格を問わず出品が出来るのですから。

### 岡本千翠教室一門展開催予告

第二十四回を迎えた一門展です。  
会期 五月二十日日(水)～二十五日(月)  
会場 ギャラリー・モナ (麻布十番2-11-3)

### ○誌上清書コンクール募集規定

- ◆今月の巻頭手本を課題として半紙作品を募集いたします。作品を審査して段級を定め誌上に発表します。
- ◆出品は本紙購読会員に限ります。
- ◆一名に付必ず半紙一枚宛のこと。
- ◆作品には出品券を切りとり、正確に記入して左下へ貼付してください。
- ◆半紙は必ず純白で縦33cm幅24cmのこと。寸法超過の作品は写真当選になりません。
- ◆一般及び学生の段級を次の通り定めます。  
十段……初段 1級……8級
- ◆一般段級の上に、師範部を置きます。師範部は別に規定があります。
- ◆新規出品は8級に編入します。
- ◆月例コンクールの外に昇段、入段、昇級の認定試験を毎年一回行います。
- ◆氏名上▽の印は昇級の印です。一級までは印で昇級しますが初段以上の入昇段は認定試験に依ります。
- ◆七六二号の締切は五月二十日です(厳守)但し海外応募に限り、月遅れを認めます。
- ◆清書出品は書状その他の郵便物を同封せず、封筒の表に「七六二号分誌上コンクール作品」と記して下さい。
- ◆出品者の規定違反による間違いは責任を負いません。

### ○学書の購読規約

▽購読希望者は左記誌代を払込んで下さい。  
一ヶ月分(二冊) 八八〇円(〒71円)  
三ヶ月分(三冊) 二、六四〇円(〒213円)  
六ヶ月分(六冊) 五、二八〇円(〒426円)  
▽誌代は三ヶ月以上前納のこと。(税込)  
▽前納誌代切れの時は送本を停止します。  
▽十部以上は、支部として特典あり。

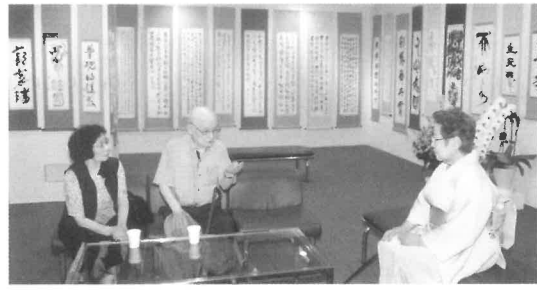
二〇二〇年四月一日発行・不許複製転載  
学書 七六二号 (月例頁数) (税別)  
誌価一部 八八〇円(二冊送料71円)  
海外支部価格・一部15ドル(送料共)

東京都中央区京橋二-18-1  
八重洲中央ビル九階 郵便番号104-0032  
編集 集学書院  
発行所 青蘭社  
電話 (五一五九)七七七〇(代)  
FAX (五一五九)七七七六  
http://www.gakusho.co.jp  
編集人 中曾根孝子  
印刷所 (株)大成美術プリンティング  
振替口座 〇〇一六〇一七-一五七九七  
口座名義 (株)青蘭社

### 第二十一回 柳田青蘭と龍心会書品展

恒例となった龍心会、二十一回目となりました。第一回からご出品されている安藤萬龍先生が、昨年二十回展も多勢の来客に囲まれて居られました。萬龍先生は昨年善哉の行書を書かれました。令和改元を記念して特別出陳した泰雲紺紙金泥聖壽萬歳は圧巻でした。又、下のスナップでは九十才を過ぎて尚、益々お元氣な囲碁界の最長老曲先生です。友、遠方より来たる楽しからずや、ここには無いのですが、多勢の方々に久方ぶりにお目にかかれるのがデパートで開催するからこそ嬉しさです。

日時 五月二十七日(水)～六月一日(月)  
会場 松屋銀座 八階イベントスクエア  
主催 学書院  
後援 読売新聞社



### 蘭子句抄

身の丈に合った幸せ小さな秋  
杖じゃないステッキですよ菊日和  
昨夜の薬忘れたかしら秋の雨  
老骨や手足こわばる今朝の秋  
菊日和彷徨い人生八十五  
菊日とお陰様です八十五  
血圧は平常通り初紅葉  
物忘れ歳の性なり秋の暮れ  
時代過ぐ令和パレード菊日和  
令和天皇ご即位パレード菊薫る  
初霜や少し気になる不整脈  
歯医者の日ぼけて忘れて芋煮かな  
二の酉や異常気象の生ビール  
老骨やせくな騒ぐな師走とて  
何もかも天にまかせて山眠る  
血圧はちよこつと高め雪模様  
初鏡白毛混じりの眉をひく  
水仙や青春時代もありました  
大寒やしぶとく生きるばかりなり  
老骨や声もか細き鬼やらい